

R08 年度高次脳機能障害関係機関交流会 アンケート結果

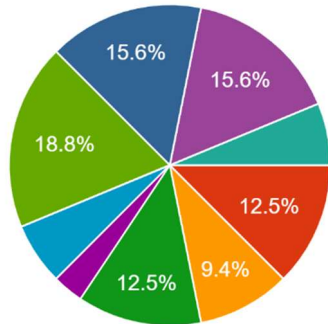
▶開催日時：R08/07/26(日) 13:30～16:00

▶開催会場：品川区立心身障害者福祉会館 4 階 訓練室Ⅰ，Ⅱ

▶参加者数：55 名

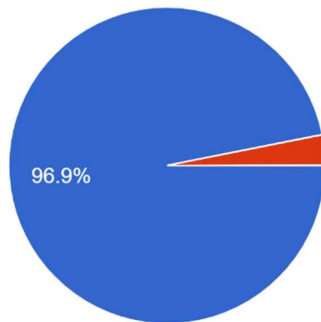
▶アンケート回収率：58.1%

1. 所属の施設や事業所等の種別について



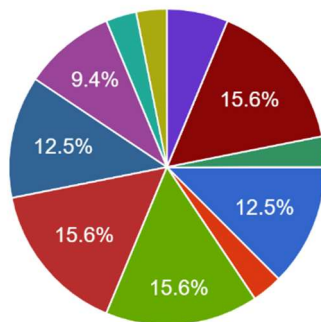
15.6% 当事者会
6.3% その他
12.5% 保健センター
9.4% 障害者相談支援センター
12.5% 在宅介護支援センター
3.1% 社会福祉協議会
6.3% 就労支援事業所
18.8% 医療施設
15.6% 福祉施設

2. 所属の施設や事業所等の住所について

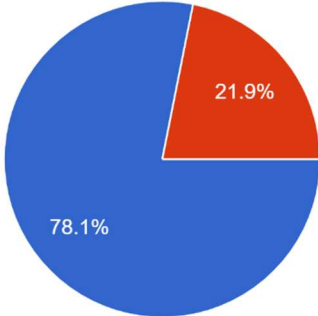
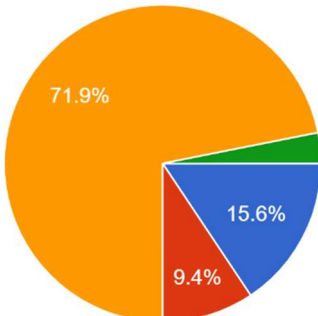
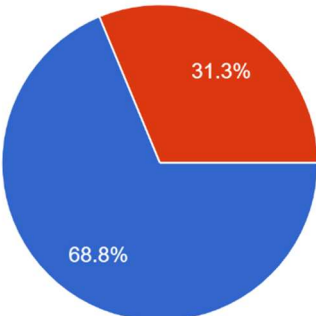


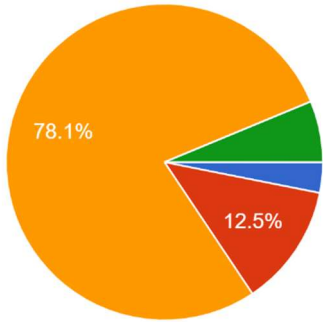
3.1% 大田区
96.9% 品川区

3. 資格等について



6.3% 機能訓練指導員
15.6% 支援事業所・施設職員
3.1% 社会福祉協議会職員
12.5% 当事者
3.1% 家族
15.6% 保健師
15.6% 社会福祉士
12.5% 介護支援専門員
9.4% 理学療法士
3.1% 作業療法士
3.1% 言語聴覚士

4. 今回の講演『“場” を作る ～新しい取り組み～』の内容について		21.9% 良かった 78.1% とても良かった
5. 今回の講演『“場” を作る ～新しい取り組み～』の時間について		3.1% 長かった 15.6% とても短かった 9.4% 短かった 71.9% まあまあ
6. 今回のワークショップ『“場” を考える』 の内容について		31.3% 良かった 68.8% とても良かった

7. 今回のワークショップ『“場”を考える』 の時間について  <table><tr><th>割合</th><th>感想</th></tr><tr><td>6.3%</td><td>長かった</td></tr><tr><td>3.1%</td><td>とても短かった</td></tr><tr><td>12.5%</td><td>短かった</td></tr><tr><td>78.1%</td><td>まあまあ</td></tr></table>	割合	感想	6.3%	長かった	3.1%	とても短かった	12.5%	短かった	78.1%	まあまあ		
割合	感想											
6.3%	長かった											
3.1%	とても短かった											
12.5%	短かった											
78.1%	まあまあ											

8. 自由記載欄
当事者やご家族、またその方々に関わる人たちの声に直接耳を傾けられる貴重な機会でした。利用される方の状態や時期によって求められる「居場所」の形は異なります。ゆったり過ごせるサロンのような場から少しステップアップして活動に取り組める場まで、地域のグラデーションに応じた支援連携が必要だと感じました。 2部の意見交換会で「本当はこういう場所があったらいいのに」という生の声をお聞きし、大変学びの多い時間となりました。法の制定と言う追い風がある中で、現場のニーズに即した居場所作りがいかに重要かを痛感しました。「居場所を作ったけど、活用方法がわからない」とならないよう、地域の居場所一覧や「こんな使い方ができる」といった具体的な活用事例を集めた情報共有の機会があると、ご家族も相談しやすくなると感じました。今回のように、ご家族の会、当事者の皆さんと支援者がフラットに意見を交わせる場が今後も定期的に行われることを希望するとともに、法制定をきっかけに行政や医療機関、地域活動支援センターが一体となって「使いやすい居場所」の情報を当事者へ届ける仕組みを一緒に作っていただければ良いと思います。
普段は介護保険の方で仕事をしています。障害福祉とは時々縁がありますが、詳しくは存じません。今日は障害関係で地域活動センターのことなど知ることができました。ありがとうございました。
・高次脳機能障害の方に関する、品川（大田）のサービス、社会資源情報を理解することができた。 ・自分が（ケアマネとして）担当している利用者では、現在2名、50代で高次脳機能障害を持っている方がいます。高齢者のDSなどはあわないので、今日情報を得たサービスをお伝えして、不利益のないように支援できると良いと思います。
当事者の方やご家族の声をきくことができ、大変学びが深まりました。ありがとうございました。
ご準備ありがとうございました。
とても有意義な会をいつもありがとうございます。
紹介して下さった施設がこういった方が対象なのかなど詳しく説明して下さった方が良かった。

“場”作りは、地域との繋がり的一步ではあるが、利用者・家族自身が関わりを持ちたいと希望しないと繋がれない難しさがあります。なるべくハードルを低くしたいと思いながらも“場”は小さな社会でもあるため、登録やルールの説明が必須で、その辺りで息切れしてしまう方もいます。個々の障害の特性があるため、出来る限りの配慮や支援に工夫や試行錯誤を行いつついます。利用者が「今日も来て良かった」と思ってもらえる“場”の提供を引き続き目指していきたいです。 個人的な希望としては、色々な“場”があると良いと思います。制度でしっかりしたものから、緩やかにフラッと立ち寄れるもの。“場”の選択肢が多いと繋がれる人も多くなるかなと考えてみました。
グループワークで自由に話ができて、当事者の方の話を伺うことができて良かったです。 準備からありがとうございました。
とても勉強になりました。ありがとうございました。
・講演の時間はちょうど良かった。 ・ワークショップのテーマは4つとも複雑に感じた。簡潔なものの方が話しやすいと思った。 ・新しい支援法について不勉強だったので（他の方はご存知なのかもしれませんが）、法についての説明があると良かったです。 ・最後の川手先生の診療報酬の話がとても参考になったので、そういった話をもっとききたいです。 ・大変充実した会でした。 ・支援者だけではなく、当事者の方もいたので、私にとってはめずらしいことで、新鮮でとても良かったです。ありがとうございました。
障害があっても、社会に溶け込んで不自由なく生活出来る社会になればと思います。
当事者の方も、支援者も、色々な立ち場の方と話をすることで、新たな発見になりました。なかなかこのような職種の方々と話せる機会はないので、これからも継続をして参加したいです。ありがとうございました。
毎回交流会は色々な方と交流でき、とても良い企画だと思います。
グループワークの意見を参考にまた日々の支援にいかしていきたいと思いました。
様々な機関が交流できる貴重な会に参加いただきありがとうございました。高次脳機能障害の方々の支援について考える機会としては、ケアマネジャーの方々への周知があってもよかったかなと思います。また引き続きよろしくお願いします！
当事者の親ごさんの率直な気持ちや思いが聴けて非常に良かったです。
区のホームページの見やすさ、宜しくをお願いします。
とても勉強になりました。ありがとうございました。今回をきっかけに、Kitaraとして持つ役割も分かりました。業務に活かしていきたいと思います。
高次脳機能障害の当事者と家族の方のさまざまな話を聴くことができる大切な場と思っています。ありがとうございます。次回の講演会を楽しみにしています。

- 本人が理解していても家族が理解できていない
- 区が理解できていない
- 福祉施設に入りづらい
- 心配ごと、定年後のこと
- 沢山あるちらしを、1枚にしたものがあると良い
- 1枚のちらしから広がる（興味があるものに参加したい）
- ケアマネが障害のことを知らない
- 区内在住ではないと参加できない
- 普通に過ごすことができない⇒話ができないからつまらない
- 個別支援の必要性⇒自分が素直になれる
- 外にでる機会⇒家族会でぐちをはく
- 家族会の口コミが良い⇒施設でつながりやすい

以上